

(様式2)

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	松井 三枝	所属	富山大学
研究集会等名称	臨床神経心理研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 10名 (うち認定心理士3名) 非会員 34名 (うち認定心理士5名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>病院をはじめとした医療ないし臨床の現場では、精神科、脳外科、小児科、神経内科及びリハビリテーション科などさまざまな領域で神経心理学的アプローチが重要であることが多い。しかしながら、多くの大学の心理学の学部および大学院においては、必ずしも神経心理学の十分な教育が施されてきているわけではない。本研究会では、神経心理学的アセスメントや神経心理学的介入および神経心理学的研究の知識や技能を促進することを目的とする。心理臨床家と研究者間の交流を行なうための定例会を行なうことが基本になり、また神経心理学的アプローチの活性のために、学会でのワークショップ等も行なっていくこととする。</p> <p>成果として月1回定期的に目的とする研究会を開催することができた。</p> <p>さらに、平成25年11月16日に富山大学杉谷キャンパスにて第48回北陸心理学会(代表者が大会準備委員長)が開催され、学会の中で臨床神経心理学に関連したシンポジウムを下記の様に行なった。</p> <p>シンポジウム「基礎心理学の臨床への応用」時間 14:50~17:05 企画・司会 松井三枝 話題提供①「音楽のストレス軽減効果に関する実験的研究」海老原 直邦 先生 話題提供②「行為を通じた自他の弁別と他者の行為の理解」佐藤 徳 先生 話題提供③「統合失調症における自己参照過程の神経基盤の変化」古市 厚志 先生 話題提供④「うつ病における光トポグラフィーを用いた鑑別補助法とサポートベクターマシンによる鑑別アルゴリズム」松田 幸久 先生</p> <p>これらの活動により、基礎心理学の臨床への応用といった側面をもつ神経心理学の理解を深める機会になっていると考えられる。今後も研究会活動を続けていく予定であり、このことにより、以上のことのほか、神経心理学的アセスメントや介入といった医療現場での神経心理学の適用の仕方の研鑽にもつながっていくと思われる。さらに神経心理学的アプローチをとりいれた研究が普及するための礎となることが期待される。</p>		

会計報告書

臨床神経心理研究会

代表 松井三枝

平成 25 年度助成金計

40,000 円

支出

適用	支出	備考
北陸心理学会内での当研究会後援(共催)のシンポジウム開催に当たっての会場費(富山大学の資産貸付費)	20,000 円	添付(足りない分は他より支出)
北陸心理学会内での当研究会後援(共催)シンポジウムの演者への講演謝礼 4名 x5000 円	20,000 円	添付領収書
合計	40,000 円	